

松林胤保 まつりん ちゆうほ 理學者。文政八年六月二十一日出羽國鶴岡生れ、明

治二十五年四月二十日歿（八二五―九二）。舊姓長坂、字基治、通稱嘉世右衛門。號南郊。庄内藩の支藩松山藩家老。維新後は後身の松嶺藩大參事、松嶺區長、藩醫惣管兼大教授を歴任。明治十一年鶴岡に歸り、爾後縣議等を務めた。一方理科學に通じ、窮理・開物・動植物・考古學等の著述を残した。

中村清の著 嘉永明治の隠れたる科學者 松林胤保 （昭和二十一年五月）二十五年

文社）がある。

